

# 専大で学ぶ外国人留学生と交流 留学生を囲む会



専修大学には250人近くの外国人留学生が学んでいます。育友会は校友会（卒業生の会）との共催で、不慣れな異国の地で勉学に励む留学生たちを激励することを目的とした「留学生を囲む会」を、昨年12月2日（土）に神田キャンパス10号館学生ラウンジで4年ぶりに開催しました。外国人留学生のほか、日本人学生、大学教職員、育友会・校友会関係者が参加しました。

昼食を取りながらの交流では、就職や勉学、日常生活、自国の話題など、国境や年代を超えて話が盛り上がりました。中国人留学生の黄浩然さん（文3）は、「教職員の方ともリラックスして話せて楽しかった」と語ります。黄さんは「中国留学生聯誼会」の副代表も務めていて、この日は、メンバー以外の留学生とも知り合い、ネットワークを広げられたそうです。

また、司会を務めた育友会副会長の佐々木愛さんは、「留学生から母国の話などを聞いて勉強になりました。留学生たちが流暢な日本語を話す姿にも感心しました」と語りました。

会の後半には、校友会と育友会から提供された生活に役立つグッズなどの景品が当たるジャンケン大会が開かれ、会場は大いに盛り上がりました。最後は全員で校歌を歌い、参加者同士の絆を深めたイベントとなりました。



↑左から廣石忠司育友会主任教授、趙時英商学部准教授、小海祐資育友会長、桃野直樹校友会会長、佐々木愛育友会副会長



↑昼食を取りながら交流を深めた



↑ジャンケン大会で景品をプレゼント

↑景品を見せ合う学生たち。左から2目が黄浩然さん